

## 格納タイミング

### 一次格納先（DRAM/SRAM）の場合

サンプリング中は、常時サンプリングデータが格納されます。

### 二次格納先（ストレージ/メモ리카ード）の場合

一次格納先の内容を二次格納先に出力するタイミングについては、以下のとおりです。

- 本体 RUN → STOP 切替時
- [機能：ストレージ取り出し]スイッチを押した時
- 一次格納先が満杯の時
- マクロコマンド [SMPL\_SAVE]、[SMPL\_CSV]、[SMPL\_CSV2]、[SMPLCSV\_BAK]、[SMPLCSV\_BAK2]、[SMPL\_BAK] 実行時
- [一次格納先：SRAM] の場合は、本体の電源投入時
- サンプリングの [機能：リセット] スイッチを押した時
- サンプルコントロールデバイスの [R: リセット] ビットが ON になった時

\* [二次格納先：ストレージ] の場合、ストレージ内に「BIN ファイル」を作成し、その「BIN ファイル」内にデータを保管します。

## CSV 出力

一次格納先のデータを二次格納先に出力し、その二次格納先の BIN ファイルの内容を、CSV ファイルとしてストレージに保存します。

### 保存のタイミング

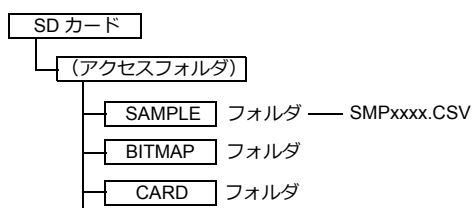
- 本体 RUN → STOP 切替時 \*
- [機能：ストレージ取り出し] スイッチを押した時 \*
- マクロコマンド [SMPL\_CSV]、[SMPL\_CSV2]、[SMPLCSV\_BAK]、[SMPLCSV\_BAK2] 実行時

\* [CSV 出力] チェックありの場合

### 格納先

¥（アクセスフォルダ） ¥SAMPLE

- ファイル名：SMPxxxx.CSV  
xxxx = 0000-0011：バッファリングエリア No.



\* [CSV 出力] を使わずに、マクロコマンド [SMPL\_CSV] を使う方法もあります。  
マクロコマンドについて、詳しくは『マクロリファレンス』を参照してください。